

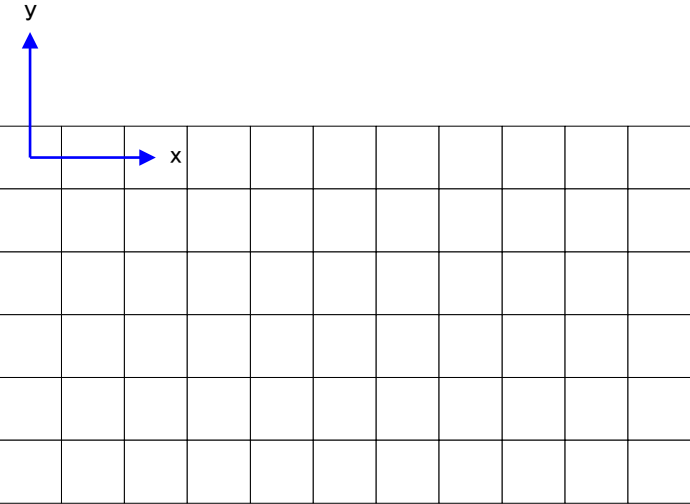
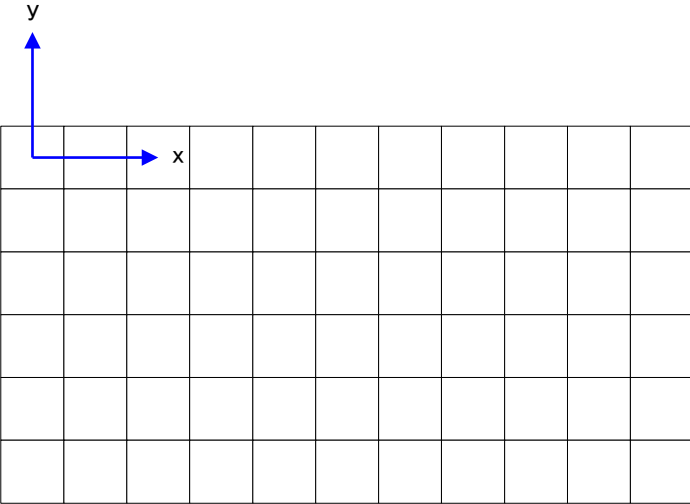
平成24年度

－公共測量－ 作業規程の準則の一部改正

付録7 公共測量標準図式

新旧対照表

改 正（案）	現 行	コメント
数値地形図データファイル仕様	数値地形図データファイル仕様	
第 3 章 写真地図データファイル仕様	第 3 章 写真地図データファイル仕様	
第 1 節 通則	第 1 節 通則	
（図郭割り） 第 1 0 0 条 写真地図データファイルの格納は、国土基本図図郭を基本とした図郭単位とし、適宜分割することができる。 2 写真地図データファイルの位置情報を付加するためのインデックスファイルとして、位置情報ファイルを図郭ごとに作成する。	（図郭割り） 第 1 0 0 条 写真地図データファイルの格納は、国土基本図図郭を基本とした図郭単位とし、適宜分割することができる。 2 写真地図データファイルの位置情報を付加するためのインデックスファイルとして、位置情報ファイルを図郭ごとに作成する。	
第 2 節 写真地図データファイル	第 2 節 写真地図データファイル	
（ファイル仕様） 第 1 0 1 条 写真地図データファイルは、原則として非圧縮 TIFF 仕様で格納するものとする。	（ファイル仕様） 第 1 0 1 条 写真地図データファイルは、原則として非圧縮 TIFF 仕様で格納するものとする。	
（ファイル命名則） 第 1 0 2 条 写真地図データファイルの名称は、数値地形図データファイル名称に準じる。 2 写真地図データファイルの拡張子は、TIF とする。	（ファイル命名則） 第 1 0 2 条 写真地図データファイルの名称は、数値地形図データファイル名称に準じる。 2 写真地図データファイルの拡張子は、TIF とする。	
第 3 節 位置情報ファイル	第 3 節 位置情報ファイル	
（ファイル仕様） 第 1 0 3 条 位置情報ファイルは、原則としてワールドファイル仕様で格納するものとする。 2 ワールドファイル仕様は、次の各号による。 一 画像座標系から地上座標系へ変換を行う際の、アフィン変換の 6 パラメータ (a から f) を順番に各 1 行で記述する。 アフィン変換は、次式で表される。 $\begin{cases} x' = ax + cy + e \\ y' = bx + dy + f \end{cases}$ ここで、 x' : 地上座標系の x 座標（数学系-東西、単位：m） y' : 地上座標系の y 座標（数学系-南北、単位：m） x : 画像座標系の x 座標（コラム又は列、単位：画素） y : 画像座標系の y 座標（ロウ又は行、単位：画素） a ～ f : アフィン変数 二 座標の原点は、下図に示す左上画素の中心を原点とする。	（ファイル仕様） 第 1 0 3 条 位置情報ファイルは、原則としてワールドファイル仕様で格納するものとする。 2 ワールドファイル仕様は、次の各号による。 一 画像座標系から地上座標系へ変換を行う際の、アフィン変換の 6 パラメータ (a から f) を順番に各 1 行で記述する。 アフィン変換は、次式で表される。 $\begin{cases} x' = ax + by + c \\ y' = dx + ey + f \end{cases}$ ここで、 x' : 地上座標系の x 座標（数学系-東西、単位：m） y' : 地上座標系の y 座標（数学系-南北、単位：m） x : 画像座標系の x 座標（コラム又は列、単位：画素） y : 画像座標系の y 座標（ロウ又は行、単位：画素） a ～ f : アフィン変数 二 座標の原点は、下図に示す左上画素の中心を原点とする。	

		
(ファイル命名則) 第 1 0 4 条 ワールドファイルの名称は、写真地図データファイル名称に準じる。 2 ワールドファイルの拡張子は、TFW とする。	(ファイル命名則) 第 1 0 4 条 ワールドファイルの名称は、写真地図データファイル名称に準じる。 2 ワールドファイルの拡張子は、TFW とする。	

改 正（案）				現 行				コメント
数値地形図データ取得分類基準表				数値地形図データ取得分類基準表				
交通施設				交通施設				

大分 分 別	分 類 コ ード	レイ ヤ ー 目 次	名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タイ プ					線 号	道 用	備 考	
				500	1000	2500	5000		取得方法	図影 区分	デ ィ タ	レ コ ー ド	方 向				属 性 数 値
交 通 施 設	22		21	バ ス 停	一般 道路 河川				位置の点情報を取得 		点	E5		3	道路にあるいは歩道上に設けられたバスの停留所をいう。		
			22	安全地帯	一般 道路 河川				外周を取得（始終点座標一致）		面	E1		3	道路にあるいは駅前広場等に設けられた安全地帯（安全島）をいう。		
			26	分 離 帯	一般 道路 河川	一般		外周を取得（始終点座標一致）		面	E1		3	分離帯とは、道路の分離帯、ロータリーの中央島等をいい、正射影を表示する。			
					一般		中心線を取得		線	E2		2	分離帯の幅員が図上0.4mm未満のものは、中心線を一条線で表示する。				
			27	駒 止	一般 道路 河川				道路側の線部を取得		線	E2		6	道路上に設けられたコンクリート製のブロックをいう。		
			28	道路の雪置い等	一般 道路 河川				外周を取得（始終点座標一致）					3	雪置又は落石等を防ぐために道路上に設置されたものをいう。		
					一般		外周を取得（始終点座標一致）		面	E1		道路の雪置い等とは、雪置又は落石等を防ぐために道路上に設置されたものをいい、長さが図上2.0mm以上のものについて正射影を表示する。					
			31	側溝 U字溝無蓋	道路				線部を取得		線	E2		3	道路縁に設けられた無蓋のU字溝等をいう。		
			32	側溝 U字溝有蓋	道路				線部を取得		線	E2		3	道路縁に設けられた有蓋のU字溝等をいう。		
			33	側溝 L字溝	道路				線部を取得		線	E2		3	道路縁に設けられたL字溝等をいう。		

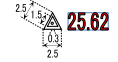
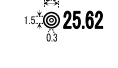
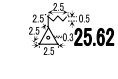
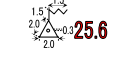
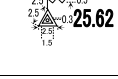
大分 分 別	分 類 コード	レイ ヤ ー デ ィ 目 次	名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タイ プ					線 号	道 用	備 考	
				500	1000	2500	5000		取得方法	図影 区分	デ ィ タ	レ コ ー ド	方 向				属 性 数 値
交 通 施 設	22		21 バス 停	一般 道路 河川					位置の点情報を取得		点	E5		3	道路上あるいは歩道上に設けられたバスの停留所をいう。		
			22 安全地帯	一般 道路 河川					外周を取得（始終点座標一致）		面	E1		3	道路上あるいは駅前広場等に設けられた安全地帯（安全島）をいう。		
			26 分 離 帯	一般 道路 河川					外周を取得（始終点座標一致）		面	E1		3	分離帯とは、道路の分離帯、ロータリーの中央島等をいい、正射影を表示する。		
				一般					中心線を取得		線	E2		2	分離帯の幅員が図上0.4mm未満のものは、中心線を一条線で表示する。		
			27 駒 止	一般 道路 河川					道路側の線部を取得		線	E2		6	道路上に設けられたコンクリート製のブロックをいう。		
			28 道路の雪置い等	一般 道路 河川					外周を取得（始終点座標一致）					3	雪置又は落石等を防ぐために道路上に設置されたものをいう。		
				一般					外周を取得（始終点座標一致）		面	E1			道路の雪置い等とは、雪置又は落石等を防ぐために道路上に設置されたものをいい、長さが図上2.0mm以上のものについて正射影を表示する。		
			31 側溝 U字溝無蓋	道路					線部を取得		線	E2		3	道路縁に設けられた無蓋のU字溝等をいう。		
			32 側溝 U字溝有蓋	道路					線部を取得		線	E2		3	道路縁に設けられた有蓋のU字溝等をいう。		
			33 側溝 L字溝	道路					線部を取得		線	E2		3	道路縁に設けられたL字溝等をいう。		

地形等

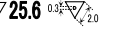
大分

大分 分
--

地形等

大分 分 類	コ ー ド	分 類 名	項 目 目 次	名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タ イ プ					備 考	
					500	1000	2500	5000		取得方法	図 影 区 分	デ ィ タ タ イ プ	レ コ ー ド	方 角 数 値		備 考
地 形 等	73	公共基準点	04	公共基準点（三角点）	一般 道路 河川		25.62		点	E5	有	4	公共測量による1級基準点測量及び2級基準点測量により設置された基準点をいう。標石の亡失したものについては表示しない。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）		
															25.62	挿入位置
				一般		25.6		点	E5	有	4	公共基準点（三角点）とは、公共測量による1級基準点測量及び2級基準点測量により設置された基準点をいい、すべて表示する。ただし、標石の亡失したもの、高架部下のものについては表示しない。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）			
														25.6	挿入位置	
			05	公共基準点（水準点）	一般 道路 河川		25.621		点	E5	有	4	公共測量による1級水準測量及び2級水準測量により設置された基準点をいう。標石の亡失したものについては表示しない。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）		
															25.621	挿入位置
			一般		25.62		点	E5	有	4	公共基準点（水準点）とは、公共測量による1級水準測量及び2級水準測量により設置された水準点をいい、すべて表示する。ただし、標石の亡失したもの、トンネル内、高架部下のものについては表示しない。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）				
													25.62	挿入位置		
			06	公共基準点（多角点等）	一般 道路 河川		25.62		点	E5	有	4	公共測量によって設置された多角点を、特別に区別して取り扱う場合に「多角点等」に準じて用いる。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）		
															25.62	挿入位置
			07	その他の基準点	一般 道路 河川		25.62		点	E5	有	2	工事等の進行のために、コンクリート杭等で堅固に作られた基準点をいう。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）		
															25.62	挿入位置
			08	電子基準点	一般 道路 河川		25.62		点	E5	有	4	基本測量により設置された電子基準点をいう。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）		
															25.62	挿入位置
				一般		25.6		点	E5	有	4	基本測量により設置された電子基準点をいう。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）			
														25.6	挿入位置	
			09	公共電子基準点	一般 道路 河川		25.62		点	E5	有	4	公共測量により設置された公共電子基準点をいう。標高数値は、公共電子基準点付属標の標高を表示する。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）		
															25.62	挿入位置
			11	標石を有しない標高点	一般 道路 河川		25.62		点	E5	有	4	公共測量による3級及び4級基準点（三角点及び水準点）、標定点測量（簡易水準測量を含む）により、平面位置及び標高を所定の精度で測定した点をいい、必要に応じて表示する。簡易水準点の標高は小数点以下2位、その他は小数点以下1位とする。			
															25.62	挿入位置
			一般		25.6		点	E5	有	4	標石を有しない標高点とは、公共測量による3級及び4級基準点（三角点及び水準点）、標定点測量（簡易水準測量を含む）により、平面位置及び標高を所定の精度で測定した点をいい、必要に応じて表示する。					
													25.6	挿入位置		

地形等

大分 分 類	分 類 コ ー ド	名 称	地図情報レベル				図 式	デ ー タ タイ プ					備 考				
			500	1000	2500	5000		取得方法	図影区分	データ	レコード	属性数値					
地形等	04	公共基準点（三角点）	一般 道路 河川	一般		25.6		点	E5	有	4	公共測量による1級基準点測量及び2級基準点測量により設置された基準点をいう。標石の亡失したものについては表示しない。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）				
					25.6	点	E7										
					25.6		点	E5	有	4				公共基準点（三角点）とは、公共測量による1級基準点測量及び2級基準点測量により設置された基準点をいい、すべて表示する。ただし、標石の亡失したもの、高架部下のものについては表示しない。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）		
					25.6	点	E7										
	05	公共基準点（水準点）	一般 道路 河川	一般		25.62		点	E5	有	4	公共測量による1級水準測量及び2級水準測量により設置された基準点をいう。標石の亡失したものについては表示しない。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）				
					25.62	点	E7										
					25.62		点	E5	有	4				公共基準点（水準点）とは、公共測量による1級水準測量及び2級水準測量により設置された水準点をいい、すべて表示する。ただし、標石の亡失したもの、トンネル内、高架部下のものについては表示しない。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）		
					25.62	点	E7										
	06	公共基準点（多角点等）	一般 道路 河川	一般		25.62		点	E5	有	4	公共測量によって設置された多角点を、特別に区別して取り扱う場合に「多角点等」に準じて用いる。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）				
					25.62	点	E7										
	07	その他の基準点	一般 道路 河川			25.62		点	E5	有				2	工事等の進行のために、コンクリート杭等で堅固に作られた基準点をいう。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）	
					25.62	点	E7										
	08	電子基準点	一般 道路 河川	一般		25.62		点	E5	有	4	基本測量により設置された電子基準点をいう。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）				
					25.62	点	E7										
					25.62		点	E5	有	4				基本測量により設置された電子基準点をいう。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）		
					25.62	点	E7										
	09	公共電子基準点	一般 道路 河川	一般		25.62		点	E5	有	4	公共測量により設置された公共電子基準点をいう。標高数値は、公共電子基準点付属標の標高を表示する。	点名称も含む（但し、点名称は全角文字、数値は半角文字）				
					25.62	点	E7										
	11	標石を有しない標高点	一般 道路 河川		一般		25.62		点	E5				有	4	公共測量による3級及び4級基準点（三角点及び水準点）、標定点測量（簡易水準測量を含む）により、平面位置及び標高を所定の精度で測定した点をいい、必要に応じて表示する。簡易水準点の標高は小数点以下2位、その他は小数点以下1位とする。	
						25.62	点	E7									
			一般			25.6		点	E5	有	4	標石を有しない標高点とは、公共測量による3級及び4級基準点（三角点及び水準点）、標定点測量（簡易水準測量を含む）により、平面位置及び標高を所定の精度で測定した点をいい、必要に応じて表示する。					
						25.6	点	E7									

改正(案)

数値地形図データファイル仕様

レコードの構成

レコード名	ファイル仕様	摘 要
(1) インデックスレコード	(1).(a)～(c)	数値地図情報の内容を総括的に把握するための情報を記録するレコード。計画機関名・座標系・図郭識別番号・取得分類からなる。当該作業(例:平成○年度 ○○市都市計画図作成作業)で作成された数値地形図データファイルの管理に用いる。
(2) 図郭レコード	(2).(a)～(f)	図郭内に含まれる数値地図情報について、その概要を記録するためのレコード。図郭名称、地図情報レベル・データ量・図郭座標・データ作成に伴う情報からなる。なお、端数の記録は図郭座標端数と図郭座標の符号とを同一とする。(例:座標値が-1234.56の場合、図郭座標列には-1234、図郭座標の端数列には-56を記録する)
(3) レイヤヘッダレコード	(3)	グループヘッダレコードの一種で、レイヤごとのグループ化のためのレコード。レイヤコード・レイヤ内の要素数・レイヤ内のデータ取得年月・データ作成手法からなる。またレイヤが変わるごとに作成する。
(3) グループヘッダレコード	(3)	グループヘッダレコードの一種で、要素についてグループ化する場合に使用するヘッダレコード。レイヤヘッダレコードと同じ項目からなる。
(4) 要素レコード	(4)	要素についてグループ化のためのレコード。原則として、実データのうち座標レコード・注記レコード・属性レコードのいずれかと対(セット)となり、実データの直前に位置する。
(5) グリッドヘッダレコード	(5)	実データであるグリッドレコードに関するヘッダ情報を記録するためのレコード。グリッドレコードの直前に位置する。
(6) 不整三角網ヘッダレコード	(6)	実データである不整三角網(TIN)レコードに関するヘッダ情報を記録するためのレコード。不整三角網レコードの直前に位置する。
(7) 三次元座標レコード	(7)	地形・地物の位置及び形状を表すための実レコード。XYZの三次元座標を記録するためのレコード。
(8) 二次元座標レコード	(8)	地形・地物の位置及び形状を表すための実レコード。XYの二次元座標を記録するためのレコード。
(9) 注記レコード	(9)	地形図上の注記を表現するための実レコード。
(10) 属性レコード	(10)	ユーザがデータ利用を目的として記録するための実レコード。
(11) グリッドレコード	(11)	グリッドデータを記録するための実レコード。レコードは高さのデータのみからなり、高さデータは行順。同行内では列順に並べて記録する。
(12) 不整三角網レコード	(12)	地形等を三角面データで記録するための実レコード。レコードはXYZの座標値の組からなる。

ファイル仕様の記述
本準則における「数値地形図データファイル仕様」の記述は、FORTRAN言語の書式に従って記述されている。そのため[繰り返し数]+[型]+[桁数]で記述される。本準則に使用されている書式は下表のとおりである。

型	意味	例	データ型と数字の補足説明
A	文字型	A30	文字型(A)で半角文字なら30字、全角文字なら15字まで入力可(入力値が無い場合は半角スペース。)
I	整数型	I3	整数型(I)で3桁、右詰で記述(入力値が無い場合"0")
X	空白	3X	空白を3個(半角スペース)

(1) インデックスレコード (a)

レコードタイプ	座標系	計画機関名	図郭数	図郭識別番号 レコード数	使用 分類 コード 数	転 位 処 理 フ ラ グ	間 断 処 理 フ ラ グ	使用した作業 規程	バージョン	空き 領域 区 分	空き 領域	
A2	I2	A30	I3	I2	I4	I1	I1	I4	A30	I1	I1	3X
1020304050607080												

レコードタイプ……………「I△」に固定(△はスペースを示す。以下同じ。)
座標系……………平面直角座標系の系番号
計画機関名……………数値地形図データの作成・更新を計画した機関名
図郭数……………地域内に含まれる情報区画(図郭)数
図郭識別番号レコード数…図郭識別番号レコード(インデックスレコード(b))の数
使用分類コード数……………当該データで使用している分類コード数(対応テーブルのレコード数)
転位処理フラグ……………当該データファイルで、転位区分を設定しているか否か※示すフラグ
0 : 転位処理を設定していない
1 : 転位処理を設定している
間断処理フラグ……………当該データファイルで、間断区分を設定しているか否か※示すフラグ
0 : 間断処理を設定していない
1 : 間断処理を設定している
使用した作業規程……………当該データファイルのフォーマットが定められた作業規程の名称
西暦年号……………作業規程が施行された西暦年 例 2008
作業規程名……………使用した作業規程名 例 国土交通省公共測量作業規程
バージョン……………データファイル仕様のバージョンで、本仕様では1
(JGDMは、0)
空き領域区分…………… 空き領域をユーザーが利用した場合の区分
0:利用していない。
n:利用している(1≦n≦9)。nの値はユーザーで管理する番号
空き領域…………… 各レコードは84バイトの固定長に設定されており、レコード内全てが記録領域としていない。その為の空白域(以降説明省略)

(1) インデックスレコード (b)

図郭識別番号 (1)	図郭識別番号 (2)	図郭識別番号 (3)	図郭識別番号 (4)	図郭識別番号 (5)	図郭識別番号 (6)	図郭識別番号 (7)	図郭識別番号 (8)	図郭識別番号 (9)	図郭識別番号 (10)	空 き 領 域
A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	4X
1020304050607080										

図郭識別番号…………… 地域内に含まれる全図郭番号(英数字、図郭識別番号レコード数分繰り返し)

現 行

数値地形図データファイル仕様

ファイル仕様の記述

A……………文字型(入力値がない場合は半角スペース。ただし、年月では"0000")
I……………整数型(入力値がない場合は、"0")
X……………空白(半角スペース)

(1) インデックスレコード (a)

レコードタイプ	座標系	計画機関名	図郭数	図郭識別番号 レコード数	使用 分類 コード 数	転 位 処 理 フ ラ グ	間 断 処 理 フ ラ グ	使用した作業 規程	バージョン	空き 領域 区 分	空き 領域	
A2	I2	A30	I3	I2	I4	I1	I1	I4	A30	I1	I1	3X
1020304050607080												

レコードタイプ……………「I△」に固定(△はスペースを示す。以下同じ。)
座標系……………平面直角座標系の系番号
計画機関名……………数値地形図データの作成・更新を計画した機関名
図郭数……………地域内に含まれる情報区画数
図郭識別番号レコード数…図郭識別番号レコード数
使用分類コード数……………当該データで使用している分類コード数(対応テーブルのレコード数)
転位処理フラグ……………当該データファイルで、転位区分を設定しているか否か
0 : 転位処理を設定していない
1 : 転位処理を設定している
間断処理フラグ……………当該データファイルで、間断区分を設定しているか否か
0 : 間断処理を設定していない
1 : 間断処理を設定している
使用した作業規程……………当該データファイルのフォーマットが定められた作業規程の名称
西暦年号……………作業規程が施行された西暦年 例 2008
作業規程名……………使用した作業規程名 例 国土交通省公共測量作業規程
バージョン……………データファイル仕様のバージョンで、本仕様では1
空き領域区分……………空き領域をユーザーが利用した場合の区分
0:利用していない。
n:利用している(1≦n≦9)。nの値はユーザーで管理する番号

(1) インデックスレコード (b)

図郭識別番号 (1)	図郭識別番号 (2)	図郭識別番号 (3)	図郭識別番号 (4)	図郭識別番号 (5)	図郭識別番号 (6)	図郭識別番号 (7)	図郭識別番号 (8)	図郭識別番号 (9)	図郭識別番号 (10)	空 き 領 域
A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	4X
1020304050607080										

図郭識別番号……………地域内に含まれる全図郭番号(英数字、図郭識別番号レコード数分繰り返し)

改 正（案）		現 行		コメント																																																																																
数値地形図データファイル仕様																																																																																				
(1)インデックスレコード(c)																																																																																				
<table><tr><th rowspan="2">使用分類コード</th><th colspan="2" rowspan="2">標準の分類コード</th><th colspan="6">使用データタイプフラグ</th><th rowspan="2">方向規定区分</th><th rowspan="2">座標次元区分</th><th rowspan="2"></th></tr><tr><th>面</th><th>線</th><th>円弧</th><th>円点</th><th>方</th><th>注</th><th>属</th></tr><tr><th>レイヤ</th><th>項目</th><th>レイヤ</th><th>項目</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>グリッド・T I N</th><th></th><th></th></tr><tr><td>14</td><td></td><td>14</td><td></td><td></td><td></td><td>911</td><td></td><td></td><td>11</td><td>11</td><td></td></tr><tr><td colspan="12">内 容 記 述</td></tr><tr><td colspan="12">A65</td></tr><tr><td colspan="12">1020304050607080</td></tr></table>					使用分類コード	標準の分類コード		使用データタイプフラグ						方向規定区分	座標次元区分		面	線	円弧	円点	方	注	属	レイヤ	項目	レイヤ	項目						グリッド・T I N			14		14				911			11	11		内 容 記 述												A65												1020304050607080												
使用分類コード	標準の分類コード		使用データタイプフラグ						方向規定区分	座標次元区分																																																																										
			面	線	円弧	円点	方	注				属																																																																								
レイヤ	項目	レイヤ	項目						グリッド・T I N																																																																											
14		14				911			11	11																																																																										
内 容 記 述																																																																																				
A65																																																																																				
1020304050607080																																																																																				
使用分類コード……………当該データファイルで使用している分類コード 標準の分類コード……………使用している取得分類コードに対応する標準の取得分類コード(数値地形図データ取得分類基準表) レイヤ……………取得分類基準の分類コード上位2桁 項目……………取得分類基準の分類コード下位2桁 使用データフラグ……………当該取得分類で各データタイプを使用しているか否かを示すフラグ 0 :使用していない 1 :使用している 方向規定区分……………当該取得区分の座標列の方向性まどのように規定しているかを示す フラグ 0 :方向性は本規定に準拠 1 :別途定めて使用している 座標次元区分……………当該座標取得分類の座標値の次元を示す フラグ 0 :特に定めない(二次元と三次元が混在) 2 :二次元(X, Y) 3 :三次元(X, Y, Z) 内容記述……………標準の分類コードと異なる分類コードを使用した場合は、その仕様等の概要を記述 ※(b)(c)は各々、(a)の図郭識別番号レコード数及び取得分類数だけ繰り返し返される。																																																																																				
(2)図郭レコード(a)																																																																																				
<table><tr><th rowspan="2">レコードタイプ</th><th colspan="3" rowspan="2">図郭識別番号</th><th colspan="3" rowspan="2">図郭名称</th><th rowspan="2">地図情報レベル</th><th colspan="3" rowspan="2">タイトル名</th><th rowspan="2">修正回数</th><th rowspan="2">バージョン</th><th rowspan="2">空き領域区分</th><th colspan="3" rowspan="2">空き領域</th></tr><tr></tr><tr><td>A2</td><td colspan="3" rowspan="3">A8</td><td colspan="3" rowspan="2">A20</td><td>15</td><td colspan="3" rowspan="2">A30</td><td>12</td><td>11</td><td>11</td><td colspan="3" rowspan="2">15X</td></tr><tr><td colspan="17">1020304050607080</td></tr></table> レコードタイプ……………「MΔ」に固定 図郭識別番号……………当該図郭の番号(英数字) 図郭名称……………当該図郭の図郭名称 地図情報レベル……………作業規程の準則第3編第1章第80条に従う。 タイトル名……………当該図郭のタイトル名(例:“〇〇市都市計画基本図”) 修正回数……………図郭の修正作業を行った回数、新規作成時は修正回数0(ゼロ) バージョン……………データファイル仕様のバージョンで、本仕様では1 空き領域区分……………空き領域をユーザーが利用した場合の区分 0 :利用していない。 n :利用している(1≦n≦9)。nの値はユーザーで管理する番号					レコードタイプ	図郭識別番号			図郭名称			地図情報レベル	タイトル名			修正回数	バージョン	空き領域区分	空き領域			A2	A8			A20			15	A30			12	11	11	15X			1020304050607080																																													
レコードタイプ	図郭識別番号			図郭名称																		地図情報レベル							タイトル名				修正回数	バージョン	空き領域区分				空き領域																																													
A2	A8			A20			15	A30			12	11	11	15X																																																																						
1020304050607080																																																																																				
(2)図郭レコード(b)																																																																																				
<table><tr><th colspan="4">図郭座標(1)</th><th rowspan="3">空 き 領 域</th><th rowspan="3">要 素 数</th><th rowspan="3">レ コ ー ド 数</th><th rowspan="3">座 標 値 の 単 位</th><th colspan="4">図郭座標(2)</th><th rowspan="3">空 き 領 域</th></tr><tr><th colspan="2">左下図郭座標</th><th colspan="2">右上図郭座標</th><th colspan="2">左上図郭座標</th><th colspan="2">右下図郭座標</th></tr><tr><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></tr><tr><td>X</td><td>(m)</td><td>Y</td><td>(m)</td><td>X</td><td>(m)</td><td>Y</td><td>(m)</td><td>X</td><td>(m)</td><td>Y</td><td>(m)</td><td>X</td><td>(m)</td><td>Y</td><td>(m)</td><td></td></tr><tr><td>17</td><td></td><td>17</td><td></td><td>17</td><td></td><td>17</td><td></td><td>17</td><td></td><td>17</td><td></td><td>17</td><td></td><td>17</td><td></td><td>9X</td></tr><tr><td colspan="17">1020304050607080</td></tr></table> 図郭座標(1)……………当該図郭の左下隅及び右上隅の、X、Y座標で、単位はm(メートル) 要素数……………当該図郭に含まれる全要素数 レコード数……………当該図郭ファイルの図郭レコードを除く全レコード数 座標値の単位……………座標データの単位を記述する。 地図情報レベル 500及び 1000では「 1」……………使用している座標値が「mm」単位であることを示す 地図情報レベル 2500及び 5000では「 10」……………使用している座標値が「cm」単位であることを示す 地図情報レベル 10000では「999」……………使用している座標値が「m」単位であることを示す 図郭座標(2)……………当該図郭の左上隅及び右下隅の、X、Y座標で、単位はm(メートル)					図郭座標(1)				空 き 領 域	要 素 数	レ コ ー ド 数	座 標 値 の 単 位	図郭座標(2)				空 き 領 域	左下図郭座標		右上図郭座標		左上図郭座標		右下図郭座標										X	(m)	Y	(m)	X	(m)	Y	(m)	X	(m)	Y	(m)	X	(m)	Y	(m)		17		17		17		17		17		17		17		17		9X	1020304050607080																
図郭座標(1)				空 き 領 域	要 素 数	レ コ ー ド 数	座 標 値 の 単 位	図郭座標(2)					空 き 領 域																																																																							
左下図郭座標		右上図郭座標						左上図郭座標						右下図郭座標																																																																						
X	(m)	Y	(m)	X	(m)	Y	(m)	X	(m)	Y	(m)	X	(m)	Y	(m)																																																																					
17		17		17		17		17		17		17		17		9X																																																																				
1020304050607080																																																																																				

改正(案)

数値地形図データファイル仕様

(2) 図郭レコード(c)

隣接図郭識別番号								空き領域
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	
A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	
								20X

隣接図郭識別番号…当該図郭の周りの図郭番号(英数字)で、左上から右回り(全部で8枚)、存在しない図郭はスペース

※右図参照

隣接図郭識別番号表		
1	2	3
8	※右図参照	4
7	6	5

(2) 図郭レコード(d)

作成 年月	現地 調査 年月	撮影 コース 数	レコ ード 数	入力機器名	公共測量承認番号	測 地 成 果 集 計 区 画 別 コ ー ド	変換手法 識別コード	空き領域
A4	A4	11	11	A30	A30	11	11	11X

成年年月・.....	位置データを作成した年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力="0000")
現地調査年月・.....	現地調査を行った年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力="0000")
撮影コース数・.....	当該図郭に紐着する写真のコース数。航空レーザ測量の場合は、計測地区数と読み替える。
レコード数・.....	撮影コースレコード(写真)の数。レコード数(n)に記載項目がない場合は0 (ゼロ)。
入力機器名・.....	位置データを入力した機器名(例: デジタルステロ化図機 ○○○○○)
公共測量承認番号・.....	承認番号(国土地理院からの承認番号)
測地成果識別コード・.....	作成した成果の測地系コードを入力 0: 日本測地系で作成 1: 世界測地系で作成 2: 日本測地系から世界測地系へ変換
図郭識別コード・.....	日本測地系から世界測地系へ変換された図郭の状態を示すコード 1: 図郭が切り直された場合 0: それ以外
変換手法識別コード・.....	座標変換の方法を示すコード 1: 図郭代表点を座標変換 2: 図郭四隅を座標変換 3: 全座標データを座標変換 0: 上記以外の座標変換 0: それ以外

※日本測地系とは、測量法(昭和24年)に定められた測量の基準、世界測地系とは、測量法(平成14年4月1日施行)に定められた測量の基準

(2) 図郭レコード(e)

作業機名	図郭座標の端数								空き領域
	左上图郭座標		右上图郭座標		左上图郭座標		右下图郭座標		
	X (cm ・ mm)	Y (cm ・ mm)	X (cm ・ mm)	Y (cm ・ mm)	X (cm ・ mm)	Y (cm ・ mm)	X (cm ・ mm)	Y (cm ・ mm)	
A40	14	14	14	14	14	14	14	14	12X
10	20	30	40	50	60	70	80		

作業機関名……………数値地図作成作業を実施した機関名
図郭座標の端数で、メートル未満の端数値数を記述する。
左下図郭座標……………左下図郭座標のメートル未満の端数値数を記述する。
左上図郭座標……………左上図郭座標のメートル未満の端数値数を記述する。
右上図郭座標……………右上図郭座標のメートル未満の端数値数を記述する。
右下図郭座標……………右下図郭座標のメートル未満の端数値数を記述する。
※地図情報レベル5002及び1000で「mm」単位、地図情報レベル2500以上で「cm」単位

現 行	コメント
-----	------

数値地形図データファイル仕様

(2) 図郭レコード(c)

隣接図郭識別番号								空き領域
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	
A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	A8	20X
10	20	30	40	50	60	70	80	

隣接図郭識別番号・・当該図郭の周りの図郭番号(英数字)で、左上から右回り(全部で8枚)、存在しない図郭はスペース

1	2	3
8		4
7	6	5

(2) 図郭レコード(d)

作成年月	現地調査年月	撮影コード数	入力機器名	公共測量承認番号	測地成果識別コード	変換手法識別コード	図郭識別コード	空き領域
A4	A4	II II	A30	A30	II II	II	II	11X

測定年月	位置データを作成した年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は"0000")	
現地調査年月	現地調査を行った年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は"0000")	
撮影コース数	当該図郭に関連する写真のコース数。航空レーザ測量の場合は、計測地区数と読み替える。	
レコード数	撮影コースレコード(n)の数。レコード数(n)に記載項目がない場合は0。	
入力機器名	位置データを入力した機器名	
公共測量承認番号	承認番号	
測地成果識別コード	日本測地系で作成	:0
	世界測地系で作成	:1
	日本測地系から世界測地系へ変換	:2
図郭識別コード	図郭が切り直された場合	:0
	それ以外	:1
変換手法識別コード	図郭代表点を座標変換	:1
	図郭四隅を座標変換	:2
	全座標データを座標変換	:3
	上記以外の座標変換	:4
	それ以外	:0

※日本測地系とは、測量法(昭和24年)に定められた測量の基準、世界測地系とは、測量法(平成14年4月1日施行)に定められた測量の基準

(2) 図郭レコード(e)

作業機関名	図郭座標の端数								空き領域
	左下図郭座標		右上図郭座標		左上図郭座標		右下図郭座標		
	X (cm ・ mm)	Y (cm ・ mm)	X (cm ・ mm)	Y (cm ・ mm)	X (cm ・ mm)	Y (cm ・ mm)	X (cm ・ mm)	Y (cm ・ mm)	
A40	14	14	14	14	14	14	14	14	12X
10	20	30	40	50	60	70	80		

作業機間名……………数値地表面作成作業を実施した機間名
国郭座標の端数で、メートル未満の端数数値を記述する。

左上国郭座標……………左上国郭座標のメートル未満の端数数値を記述する。
右上国郭座標……………右上国郭座標のメートル未満の端数数値を記述する。
左上国郭座標……………左上国郭座標のメートル未満の端数数値を記述する。
右下国郭座標……………右下国郭座標のメートル未満の端数数値を記述する。

地図情報レベル500及び1000で「mm」単位、地図情報レベル2500以上で「cm」単位

コメント

改正（案）

数値地形図データファイル仕様

(2) 図郭レコード(f)

撮影		写真		写真番号		撮影		写真		写真番号		撮影		写真		写真番号		空き領域									
コース番号	年月	縮尺	枚数	始点	終点	コース番号	年月	縮尺	枚数	始点	終点	コース番号	年月	縮尺	枚数	始点	終点										
A4	A4	I5	I1	I4	I4	A4	A4	I5	I1	I4	I4	A4	A4	I5	I1	I4	I4	18X									
		10		20		30		40		50		60		70		80											

撮影コース番号……………当該図郭に関する**空中**写真の撮影コース番号(英数字)。航空レーザ測量の場合は、計測地区番号と読み替える。
撮影年月……………当該図郭に関する**空中**写真の撮影年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は"0000")。航空レーザ測量の場合は、計測年月日と読み替える。
写真縮尺……………当該図郭に関する**空中写真の地上画素寸法*cm単位で入力する。フィルム航空カメラ撮影の場合撮影縮尺の分母数を入力する。また、**航空レーザ測量の場合は、三次元計測データの平均間隔と読み替えcm単位で入力する。
写真枚数……………当該図郭に関する**空中**写真の当該コース番号についての枚数
写真番号……………当該図郭に関する**空中**写真の始点及び終点番号

※(d) (e) (f) は新規作成時に1回、その後は
(d) (e) (f) (d) (e) (f) (d) (e) (f) ……………
新規 修正1回目 修正2回目

のように、修正が行われる度に追加される。
※図郭レコード(f)のデータ数が4以上の場合は複数レコードを連続する。

(3) グループヘッダレコード(レイヤヘッダレコード及び要素グループヘッダレコード)

レコードタイプ	地図分類コード				要素識別番号	階層レベル	要素数										取得年月	更新の取得年月	消去年月	数値化区分	空き領域																										
	分類コード		地域分類	情報分類			総数	グループ	面	線	円	円弧	点	方向	注記	属性																															
	レイヤ	項目																																													
A2	I4	I2	I4	I4	I2	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I1	A4	A4	A4	I2	X																									
		10		20		30		40		50		60		70		80																															

レコードタイプ……………「H△」に固定
地図分類コード……………数値地形図の情報体系コード
分類コード……………取得分類基準表に基づく分類コード
地域分類コード……………地図情報の属する位置的特性による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)
情報分類コード……………地図情報の利用目的による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)
要素識別番号……………個々の要素を識別するためのもので、一図郭内の分類コード別に、1から4桁の一連番号、10,000を超える場合は0から開始する4桁の一連番号(通常レイヤヘッダレコードでは0)
階層レベル……………当該レコードの階層上の位置(通常レイヤヘッダレコードでは1、要素グループヘッダレコードでは2)
要素数……………1レベル下に存在するデータタイプ別の要素数及びグループ数、総数
総数……………**全要素数**
グループ……………**グループ化した要素の数**
面……………**面データタイプの数**
線……………**線データタイプの数**
円……………**円データタイプの数**
円弧……………**円弧データタイプの数**
点……………**点データタイプの数**
方向……………**方向データタイプの数**
注記……………**注記データタイプの数**
属性……………**属性データタイプの数**
グリッド・TIN……………**グリッド要素の数とTIN(不整三角網)の数の合計。通常は1、(例・DTMとDSMがある場合は2)**
取得年月……………当該グループに属する取得要素の最新年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は"0000")
更新の取得年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グループに属する取得要素の最新年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は"0000")
消去年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グループに属する消去要素の最新年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は"0000")
数値化区分……………当該グループが主にどのような手法によって数値化されたかを示す区分(精度区分の上位桁)

現行

数値地形図データファイル仕様

(2) 図郭レコード(f)

撮影		写真		写真番号		撮影		写真		写真番号		撮影		写真		写真番号		空き領域									
コース番号	年月	縮尺	枚数	始点	終点	コース番号	年月	縮尺	枚数	始点	終点	コース番号	年月	縮尺	枚数	始点	終点										
A4	A4	I5	I1	I4	I4	A4	A4	I5	I1	I4	I4	A4	A4	I5	I1	I4	I4	18X									
		10		20		30		40		50		60		70		80											

撮影コース番号……………当該図郭に関する写真の撮影コース番号(英数字)。航空レーザ測量の場合は、計測地区番号と読み替える。
撮影年月……………当該図郭に関する写真の撮影年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は"0000")。航空レーザ測量の場合は、計測年月日と読み替える。
写真縮尺……………当該図郭に関する**写真の縮尺の分母数**。航空レーザ測量の場合は、三次元計測データの平均間隔と読み替えcm単位で入力する。
写真枚数……………当該図郭に関する写真の当該コース番号についての枚数
写真番号……………当該図郭に関する写真の始点及び終点番号

※(d) (e) (f) は新規作成時に1回、その後は
(d) (e) (f) (d) (e) (f) (d) (e) (f) ……………
新規 修正1回目 修正2回目

のように、修正が行われる度に追加される。
※図郭レコード(f)のデータ数が4以上の場合は複数レコードを連続する。

(3) グループヘッダレコード(レイヤヘッダレコード及び要素グループヘッダレコード)

レコードタイプ	地図分類コード				要素識別番号	階層レベル	要素数										取得年月	更新の取得年月	消去年月	数値化区分	空き領域																										
	分類コード		地域分類	情報分類			総数	グループ	面	線	円	円弧	点	方向	注記	属性																															
	レイヤ	項目																																													
A2	I4	I2	I4	I4	I2	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I5	I1	A4	A4	A4	I2	X																									
		10		20		30		40		50		60		70		80																															

レコードタイプ……………「H△」に固定
地図分類コード……………数値地形図の情報体系コード
分類コード……………取得分類基準表に基づく分類コード
地域分類コード……………地図情報の属する位置的特性による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)
情報分類コード……………地図情報の利用目的による分類で、必要に応じて利用者が任意に定義するコード(選択項目)
要素識別番号……………個々の要素を識別するためのもので、一図郭内の分類コード別に、1から4桁の一連番号、10,000を超える場合は0から開始する4桁の一連番号(通常レイヤヘッダレコードでは0)
階層レベル……………当該レコードの階層上の位置(通常レイヤヘッダレコードでは1、要素グループヘッダレコードでは2)
要素数……………1レベル下に存在するデータタイプ別の要素数及びグループ数、総数

取得年月……………当該グループに属する取得要素の最新年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は"0000")
更新の取得年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グループに属する取得要素の最新年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は"0000")
消去年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該グループに属する消去要素の最新年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は"0000")
数値化区分……………当該グループが主にどのような手法によって数値化されたかを示す区分(精度区分の上位桁)

改正(案)

数値地形図データファイル仕様

(6) 不整三角網ヘッダレコード

レコードタイプ	地図分類コード				要素識別番号	階層レベル	図形区分	三角形数	レコード数	取得年月	更新の取得年月	消去年月	精度区分	空き領域																																								
	分類コード	地域分類		情報分類																																																		
		レイヤ	項目																																																			
A2	I4		I2	I4	I4	I2	I2		I6		I6	A4	A4	A4	I2	38X																																						
レコードタイプ……………「T△」に固定 地図分類コード……………要素グループヘッダレコードを参照 分類コード、地域分類、情報分類……………要素グループヘッダレコードを参照 要素識別番号……………要素グループヘッダレコードを参照 階層レベル……………当該レコードの階層上の位置(通常は2又は3) 図形区分……………図面出力上必要な区分コード 三角形数……………三角形の数 レコード数……………当該三角形の実データレコード数 取得年月……………当該不整三角網データを取得した年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は"0000") 更新の取得年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該不整三角網データが修正された年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は"0000") 消去年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該不整三角網データが存在しなくなったことが確認された年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は"0000") 精度区分……………不整三角網ごとのデータの精度 ※不整三角網とは不整形の三角形で地表を表現する方法(TIN)。																																																						
座 標 値			座 標 値			座 標 値			座 標 値																																													
X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z																																											
I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7																																											
Z値……………座標列の一部に値が存在しない場合は、「m」単位では-999、「cm」単位では-99900、「mm」単位では-999000を与える。																																																						
座標値		座標値		座標値		座標値		座標値		座標値																																												
X	Y	X	Y	X	Y	X	Y	X	Y	X	Y																																											
I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7																																											
座標値……………図郭原点(左下隅)からの測地座標で、要素レコードにあるデータ数と同じ座標数を持つ 線・面……………線上の経過点の座標値 点……………1点の座標値 円……………円周上の3点の座標値 円弧……………円弧上の3点の座標値で、円弧の始点、円弧上の任意の点、円弧の終点の順に待つ 方向……………ある点に対する方向を示す場合(例えば電柱)に用いるもので、2つの座標値を組として方向を示す。 最初の座標値がその中心を、次の座標値がその方向を表し、1レコードには、三次元座標レコードでは2組の方向データを持つ。 右の例での方向データは、P₁P₂、P₁P₃、P₁P₄の3組となる(2レコードが必要) ※(7)において直前の要素レコードのデータ数が5以上の場合は、複数レコード連続する。 ※(8)において直前の要素レコードのデータ数が7以上の場合は、複数レコード連続する。																																																						
縦横区分	文字列の方向	字大	字隔	線号	注記データ																																																	
		(0.1mm)	(0.1mm)																																																			
I1	I7	I5	I5	I2	A64																																																	
縦横区分……………文字列の並びが縦か横かの区分 0：横書き……………公 共 測 量 1：縦書き……………図 書 館 文字列の方向……………注記の表示方向を示す角度。単位は度、範囲は縦書きの場合は-135° ～-45°、横書きの場合は-45° ～+45°とする。 字大……………字の大きさ 単位は10分の1ミリメートル 字隔……………字の間隔 単位は10分の1ミリメートル。全角・半角が混在する場合には、全角を基準とする。 線号……………字の太さ 線号の号数を記述する 注記データ……………漢字または文字データ(JIS第1及び第2水準) 複数レコードにまたがり、レコードの区切りに全角文字がきた場合には、バイトに分割して格納する。 ※ 要素レコードのデータ数が、漢字の場合33以上、英数字の場合65以上の場合は、注記レコードが、複数連続する。																																																						

現 行

数値地形図データファイル仕様

(6) 不整三角網ヘッダレコード

レコードタイプ	地図分類コード				要素識別番号	階層レベル	図形区分	三角形数	レコード数	取得年月	更新の取得年月	消去年月	精度区分	空き領域																																								
	分類コード	地域分類		情報分類																																																		
		レイヤ	項目																																																			
A2	I4		I2	I4	I4	I2	I2		I6		I6	A4	A4	A4	I2	38X																																						
レコードタイプ……………「T△」に固定 地図分類コード……………要素グループヘッダレコードを参照 分類コード、地域分類、情報分類……………要素グループヘッダレコードを参照 要素識別番号……………要素グループヘッダレコードを参照 階層レベル……………当該レコードの階層上の位置(通常は2又は3) 三角形数……………三角形の数 レコード数……………当該三角形の実データレコード数 取得年月……………当該不整三角網データを取得した年月、西暦の下2桁及び月で表現(未入力は"0000") 更新の取得年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該不整三角網データが修正された年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は"0000") 消去年月……………追加形式でファイルを更新する際に用い、当該不整三角網データが存在しなくなったことが確認された年月、西暦の下2桁及び月で表現(選択項目)(未入力は"0000") 精度区分……………不整三角網ごとのデータの精度 ※(7)において直前の要素レコードのデータ数が5以上の場合は、複数レコード連続する。 ※(8)において直前の要素レコードのデータ数が7以上の場合は、複数レコード連続する。																																																						
座 標 値			座 標 値			座 標 値			座 標 値																																													
X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z																																											
I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7																																											
Z値……………座標列の一部に値が存在しない場合は、「m」単位では-999、「cm」単位では-99900、「mm」単位では-999000を与える。																																																						
座標値		座標値		座標値		座標値		座標値		座標値																																												
X	Y	X	Y	X	Y	X	Y	X	Y	X	Y																																											
I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7	I7																																											
座標値……………図郭原点(左下隅)からの測地座標で、要素レコードにあるデータ数と同じ座標数を持つ 線・面……………線上の経過点の座標値 点……………1点の座標値 円……………円周上の3点の座標値 円弧……………円弧上の3点の座標値で、円弧の始点、円弧上の任意の点、円弧の終点の順に待つ 方向……………ある点に対する方向を示す場合(例えば電柱)に用いるもので、2つの座標値を組として方向を示す。 最初の座標値がその中心を、次の座標値がその方向を表し、1レコードには、三次元座標レコードでは2組の方向データを持つ。 右の例での方向データは、P₁P₂、P₁P₃、P₁P₄の3組となる(2レコードが必要) ※(7)において直前の要素レコードのデータ数が5以上の場合は、複数レコード連続する。 ※(8)において直前の要素レコードのデータ数が7以上の場合は、複数レコード連続する。																																																						
縦横区分	文字列の方向	字大	字隔	線号	注記データ																																																	
		(0.1mm)	(0.1mm)																																																			
I1	I7	I5	I5	I2	A64																																																	
縦横区分……………文字列の並びが縦か横かの区分 0：横書き……………公 共 測 量 1：縦書き……………図 書 館 文字列の方向……………注記の表示方向を示す角度。単位は度、範囲は縦書きの場合は-135° ～-45°、横書きの場合は-45° ～+45°とする。 字大……………字の大きさ 単位は10分の1ミリメートル 字隔……………字の間隔 単位は10分の1ミリメートル。全角・半角が混在する場合には、全角を基準とする。 線号……………字の太さ 線号の号数を記述する 注記データ……………漢字または文字データ(JIS第1及び第2水準) 複数レコードにまたがり、レコードの区切りに全角文字がきた場合には、バイトに分割して格納する。 ※ 要素レコードのデータ数が、漢字の場合33以上、英数字の場合65以上の場合は、注記レコードが、複数連続する。																																																						

コメント

改 正（案）	
数値地形図データファイル仕様	

(12) 不整三角網レコード

座 標 値 (i, 1)			座 標 値 (i, 2)			座 標 値 (i, 3)			座 標 値 (i+1, 1)		
X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z
17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17

座標値……………括弧内に示す順番は、特定の不整三角網レコードの事例である。
 三角形は3点の座標値とする。
 座標値は不整三角網レコードを満たすよう連続して記録する。
 座標値及び三角形の記録する順番は規定しない。

※ (12)において直前の不整三角網レコードの三角形数が2以上の場合は、複数レコード連続する。
 ※ Z値が存在しない場合は、「m」単位では-999、「cm」単位では-99900、「mm」単位では-9990000を与える。

現 行		コメント
数値地形図データファイル仕様		

(12) 不整三角網レコード

座 標 値 (i, 1)			座 標 値 (i, 2)			座 標 値 (i, 3)			座 標 値 (i+1, 1)		
X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z	X	Y	Z
17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17

座標値..... 括弧内に示す原番は、特定の不整三角網レコードの事例である。
 三角形は3点の座標値とする。
 座標値は不整三角網レコードを満たすよう連続して記録する。
 座標値及び三角形の記録する原番は規定しない。

※ (12)において直前の不整三角網レコードの三角形数が2以上の場合は、複数レコード連続する。
 ※ Z値が存在しない場合は、「m」単位では-999、「cm」単位では-99900、「mm」単位では-999000を与える。

改 正（案）

数値地形図データファイル仕様

実データ区分

注 記 区 分

図 形 区 分

データタイプ

レコードタイプ

間 断 区 分

転 位 区 分

精 度 区 分

現 行

数値地形図データファイル仕様

実データ区分

注 記 区 分

図 形 区 分

データタイプ

レコードタイプ

間 断 区 分

転 位 区 分

精 度 区 分